



平成25年2月
国土交通省
東北地方整備局
仙台河川国道事務所
仙台海岸出張所



岩沼市阿武隈一丁目2-16
TEL 0223-25-5431

現場からの声 vol.4

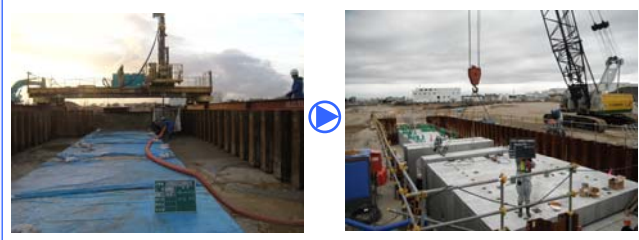
震災が発生してから、あと1ヶ月で2年が経とうとしています。

震災後、私は南蒲生浄化センター付近において津波被害を受けた高砂南部排水機場の緊急排水作業と、津波堆積物除去作業をしていました。

津波により流された車両やガレキがあちこちに散乱していた風景を思い返してみると復興・復旧がだいぶ進んだ様になります。

その後、他の復旧工事を経て今回堤防本復旧工事を携わる事になりました。

放流函補強のための門形カルバド設置作業の様子



当工区施工箇所は、背後に仙台市南蒲生浄化センターが位置しており、南蒲生浄化センターも東日本大震災により甚大な被害を受けており、いち早い堤防工事の完成が望まれています。当工区には南蒲生浄化センターの放流函が海岸堤防を横断しており、堤防築堤前に**放流函の補強**が必要でした。

補強にあたり、工程短縮及び放流函へ与える影響を最小限に抑えるために、施工上の工夫が求められ、**新技術・新工法を積極的に取り入れた施工**を行いました。

深沼北工区北部第3復旧工事 現場代理人 日建工業(株) 本田 直樹

海岸堤防の早期完成を目指して

施工中は、監督官と共に、南蒲生浄化センター側との打合せを密に行い、手戻り無く、順調に補強作業を進めることができ、現在は、無事に放流函の補強が完了し、堤防築堤作業を進めています。



平成24年5月 本復旧工事着手前の状況



平成25年1月の築堤作業の状況

深沼北工区は当初5工区でしたが、3工区増え現在8工区が工事早期完成に向け鋭意施工中です。

他事業工事との隣接や錯綜も多い事から、連絡調整不足等にならないよう連絡調整会議を週1回定期的に開催し、他工区現場代理人と**コミュニケーションや意見交換を密に行い**、又他事業工事関係者とも適宜連絡調整を行いながら**円滑な施工**を行っています。

また、深沼北工区独自の安全パトロールも定期的に行い、事故防止に努めています。



海岸堤防工事は、入社して以来初めて携わる工事であり、今後の人生においてもそう機会がないと思います。

携わった事に誇りと責任を持ち、これからも施工条件が厳しい中での作業ですが、**0災害で工事完成**を目指し、努力して行きたいと思います。

連載

砂浜に生息する生き物

— その3 ハマナス

ハマナスといえば、北海道の夏の海岸原野に咲く花として有名ですが、本州の山陰や北陸、東北地方の日当たりの良い海岸砂地にも見ることができます。

バラの品種改良に使用された原種のバラの一つで、ハマナスを親に使用したルゴザ系のバラには多くの人気品種が誕生しています。

この素朴で美しい花は、花はお茶に、実はローズヒップとしてジャムなどの食用になります。また、ハマナスは、20以上の自治体が市町村の花に指定しており、皇太子妃雅子妃殿下のお印にもなっています。

